

校長室の窓から No.5

平成24年 6月 1日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小谷 豪 郎

修学旅行特集

5月23日～25日



早朝6時45分に学校へ集合し眠い目をこすりながらバスに乗り新大阪駅に無事到着しました。

いつもなら通勤ラッシュで遅れることも想定していましたが、日頃の行いが良いのか渋滞もなく予定より早く到着し時間に余裕がありました。



新幹線の車内の楽しみといえば、友達同士のおしゃべりと、お昼のお弁当です、新大阪を出発してから約2時間、朝が早かったのでみんなお腹がすいていたようです、お弁当の時間になると先ほどまでの騒がしさはどこえやら、食べることに集中して車内はとても静かでした。



新幹線を小倉でおりてバスに乗り換えて約2時間、やっと**安心院**に到着です。大きな看板で出迎えていただきました。

お世話になる受け入れ農家の方々との対面式です、さでどのような家にお世話になるのかな？



優しいなおじさん・おばさん、ちょっと怖そうなおじさん・おばさん、外人さんもいます、おじいちゃん・おばあちゃんといった方もいらっしゃいます、皆どきどきしながら紹介を受けていました。



担任の先生たちとはここでお別れです、いよいよ車で各家庭に連れて行っていただきます、遠いところは40分～50分街灯もない人里離れた山の中や、峠を越えて海岸辺まで多種多様な環境へと分かれていきます。

【修学旅行2日目：体験活動開始】



このグループは、わらを切って植えたばかりのなすの苗を守るようにわらを被せる仕事をしていました。その他にサツマイモの苗付けもしていました、収穫の時期にまた来れたらいいのよね。



庭に出来た山椒の実を収穫しパック詰めをする作業を手伝っていました。

衣斐先生が、その山椒をいただいて帰る代わりに、山椒の佃煮もしくは山椒を使った料理を作ってくる、という話になりましたが、みんなの反応は、『無理』『料理出来なさそう』ということでした。



ここの女子グループは、生まれて初めての田植えに挑戦です。

始めはソックスをはいて泥の中に入っていたのですが、最後は素足で頑張っていました、ちょっと虫君におびえながらでしたが頑張っていました。



農作業を終えて、こちらの男子は自分たちで昼食作りを終えて丁度食事中でした。巡回の教師も赤飯や手打ちうどん、自家製の梅干しやお漬け物をいただき満足して帰ってきました。



あっという間の農業体験でした、1泊では少々もの足りなかったかな、どの家庭も食事では食べきれないほどのごちそうで皆が大変よろこんでいました。

では後半の長崎への旅に出発です。



大分県安心院での農業体験を終え、バスに乗ること約3時間、九州を東西に横切り大分自動車道から長崎自動車道を経て次の目的地、長崎県長崎市のホテルに到着。
少し雲が厚くなってきて、明日の活動が心配です。



ホテルの夕食もボリュームたっぷり、ハンバーグにエビフライ、ロールキャベツにその他諸々のおかずがたっぷり、そしてメインの「長崎チャンポン」があり女子は食べきれずに男子の班にお願いする光景もあちらこちらで見受けました。



ホテルでの楽しみのもう一つお土産の購入です、さすがにカステラが予定数を超過して売り切れてしまったらしいです。



到着した日の長崎は、100万ドルの夜景というような素晴らしい景色でしたが、翌朝は一転、歌にもあるように『長崎は今日も雨だった』・・・♪

【修学旅行3日目：班別活動開始】



雨の長崎もなかなか

風情があ
って・・・



事前にみんなで分担して作った千羽鶴を生徒会の太田君が代表して慰霊碑にかけに行きました。

事故もなく無事に終了した修学旅行でしたが、残念ながら決して褒められたことばかりではありませんでした。

出発前に生徒一人一人が武庫東中学校の名前を背負っていることを自覚して行動して欲しい、というような話がありましたが、靴のかかとを踏んでいたり服装のだらしなさを何度も注意されたり、全体で指示するとき話に集中出来なかったり、個人的なわがままがたくさん見受けられました。

3年生としての自覚が足りません、これからの進路選択の時に今回のようなわがままな行動をとってはいけません、取り返しのつかない大きな失敗につながるかもしれません、もう一度自分の行動を振り返って反省をして下さい。